廣西省、抗

日を脱り

春の空を風靡して黄河南岸の での基地十五日發國通3 等

の新

(プラッセル子四日發劇通) ・フランコ政府と変渉の結 果、近く正式代表を任命して 果、近く正式代表を任命して なっていました。ベルギー

するものとみられる 関上承認すると共に 既上承認すると共に なりに不干渉委員會

青少年指導者

派遣團歸京す

廣東軍を遮斷し

李宗仁、白崇禧を

協和青少年指導者日本派遣騰 一行三十四名は陽長竹下陽雄 られ、協和會服にリュック委 の大きなおみやげを持つて十 五日午後九時三十五分新京驛 をで懐しの國都に聯選、竹下 関長の指揮によつで瞬前に整 列し田迎への本部員に動して 接抄を述べ、恒吉輔導部長の は を が下下 で協和青少年指導者日本派遣騰

生は無政の点が

東軍の際進出と

さずるない。

支部長

會

神宮に親任素

したが、車中左の如く 親任奉告のため十四日

下各局課長その値關係官のほ ならびに片倉中佐等組席、星陸軍側板垣陸栉、山脇大官以 岸産業部大長、青木金融司長際軍側板垣陸村、山脇大官以 岸産業部大長、青木金融司長、大後三時より省内會議室で補 か暴謀本部よりも各部課長、

野長官、岸次長より繊洲関の生産力擴充案の内容に関し詳

の經濟政策を語る

陸鷲潼關を大爆撃

黄河南岸の要衝覆滅

(日曜月)

方 基地に耐湿した。 ・ 大児親に除った。かくて猛 ・ 大児親に除った。かくて猛 ・ 大児親に除った。かくて猛 ・ 大児親に除った。かくて猛 ・ 大児親に除った。かくて猛 ・ 大児親に降った。かくて猛 ・ 大児親に降った。かくて猛 ・ 大児親に降った。かくて猛 ・ 大児親に降った。かくて猛 ・ 大神の陽光に ・ 大神の ・ 大神に ・ 大神の ・

ファギ

3

政府和

承認

不干涉委員會

脱退せん

### 米海軍强化説は恒 自主軍備 日屋 米内海相時局に 【頁二十刊夕朝紙本】

安する一種の大人人人

產黨暗躍

活潑になりつもある 活潑になりつもある

んで中職よりバルルの錯綜せる國際別係の何れかに態度を無

作り

たい

V)

11

からうからからから

や前る一らを全

しかし假にこの要求が五 焦躁の蔣 保安隊を軍隊化

全身において汪精衛の 中建設深が討論される 中建設深が討論される の方否認してゐると傳 が更に中國共産黨幹 一五中全會に對して

石を投じたものと見られるの内に投ぜられやう、かくの内に投ぜられやう、かくの内に投ぜられやう、かく

中銀二十氏歸京、日銀等に折衝のため東上中の笠井秘書課長にたが、左の如く語つたが、左の如く語つた際条の本行東京支店の預金受入方にでるの次れら愈よ認可をみた、従来日満爲替業務の上にもなるの交流は一段と明滑とというくしと不自由があった。

陸軍新設各課長

等の要求を開発を

つき語る

既各派聯合委員會の

洪國の協定 参加は の前進

消息通の觀測

時十分新京្段の

- 五日午後

影撮 樂音

ゆうべ出で

へあつ進りと連携 らるて路帰はね色 れ、こを趨東るを 

に直面し従来の腰床模糊た を得てゆからとは周来 が、美佛にすがりッ聯の支 特を得てゆからとは周来 で、進んで獨併経動の庇護 と、進んで獨併経動の庇護

綜合生產擴充

株主側は支持す

希望條件附し當局に要望

の増資案を

政府

で屋内に乗入れ優易で暖を るなど無茶なことをして磨 現代に於て軍犬は並服な動 を下で、大人をして磨 が急行便による航空小荷物 でに内地から到受人の手に入 でに内地から飛行場まで 

で受ける留日學生「行」 萩原次官東上

かが間別れの挨拶をないに先立ち午前十一時

た、御時世 かい女心を かいて過ぎ |6日 4 日 間





高峰三枝子。德大寺 佐分利信•日守 夫正藤**济** 二宣藤伊 新 伸·近衛 一・廣 懶

の戀のかけ 面白く皮肉に ってゐたこ た本年 按摩 て美 ひきを

どう て t の間 映畵化の ひご清

問題の作品

チャンスを狙っ りは

男日な貴 の本い方竹 出映女が

な書ば今大い最か迄 

S

.

K

(日曜月)

総員白系露人エポフ、セルゲ 省两額廣鳥瑞興安鶴 菜 會 社 (採金場)社員永谷蕎幸氏 へ (採金場)社員永谷蕎幸氏 へ

1 吉勒建綱より鳥鴉に向ふ途中 「グン河氷上に差かふつた際、 突如ソ聯兵の不法射撃を受け 一行三名はソ聯領内に拉致さ れた

業會社員一

ソ聯兵が拉致

現場には永谷氏の所持せる拳 (総子の他所持品等散亂し、 橋には生々しい血痕が附着して をり附近の地形より見てソ聯 計畫的に不法襲撃したものよ かく、その後對岸部落には兵 をりば、その後對岸部落には兵 をしてゐる模様である

【東京関通】ハンガリ 大協会等の關係方面 文化協会等の關係方面 立、に包まれてゐるが、最 公使から外務省への報 公使から外務省への報

機する以上日本最高のである、元來

として日本に味方し日本の味たが、ハンガリーのみは敢然たが、ハンガリーのみは敢然たかへ

同じくッラ 製古、朝鮮 でしれ族の でしれ族の

は開設を見る機様で兩個々交開設されであないが今年中に

蔣政府が壓迫

性れる男女

のすし

本尊頒布

を

利を新つて己まなかったも

連日バンド、江岸通りは再界外島軍警備區域内に流出

渡で多敷避難民達は續々と租の独骨し去る十二日の租界院で多敷避難民達は續々と租

の通行で非常な難沓に賑ひをの喜色に溢れた老者支那群衆

東京-日本級・水町 会議 会社

第二正

つた、同氏の大化學者

勝利とはならなかつたであらならば大戦の終局は聯合軍の

が

y

國

民は

H

一量員

五十銭、豚肉一ポンドー側廿金、砂糖一ポンド七十銭その他各種必需品は平常の二倍乃の五倍に暴騰してゐる、かく

新興化學工業

石炭液化には?

(上)

江の自動をといるが、

全を闖るといふ案件に當面し全を闖るといふ案件に當面し

## 英國の地位と 極東外交の現實性

個の番犬に外ならな 意義は東洋における 意義は東洋における ための

大の息電占領地域 英國人所有工場 英國人所有工場 でこれなければ英國 でれなければ英國

の協力によつて印度及び支那性を包有する英國の現姿である。これがために英國は米國

の東洋においては同盟関である日本の海軍が地中海にあり且をが出来たからである。大機 を所出来たからである。大機 を応出来たからである。大機 たならば「英國の東洋における る通商はドイツの東洋艦線の たならば「英國の東洋における の東洋における。

における機会を推議せんとしてある。この意味において高 意義は東洋における薬園の構 信念を振識するための単なるー 信の番犬に外ならない、即ち イーデン外交が米関に對しっ の確行上に登立して協調する ことの必要性」を強調しわが が重の要職以來米國民の人道 主義的感傷心理に訴い自國の権 ためにこれを高度に最揚する ためにこれを高度に最揚する ことの必要性」を強調しわが では、即ち ためにこれを高度に最揚する

y

ラ

ンド

利

れこの上に彼等は日本を兄弟の関として熱愛し破服し小學の兄弟であるといつてゐる程の兄弟であるといってゐる程

れるので下層支那人は屋根下から盗れ道路に氾濫、袋路に を現出、毎日毎夜わづかな がりとなり、水桶をかついで自 家に贈るまでに群衆のこぼす を取出、水桶をかついで自 家に贈るまでに群衆のこぼす

欧が東海の一島圏が活かくて日露戦争の場

7

oためにはこれと接いている。」と論難してゐる。」と論難してゐる

を滅亡せしめてゐる、これ% 不靈の所産であることを認知 すべきであらう

一徳一心響察」だと 一徳一心響察」だと 一心ルや拳銃とは緩 のムやうに思はれ、 ならば何でも話せば をらば何でも話せば その植田 その植田 たを前田

的事象で
び英獨の
ンヘン會

動きは適正なる例示 定の競效或は英佛及

長は淵情味たつ

事質植田さんと話し

か「協和

かその日元されて一切

型がある。 関内の奥論は「獨裁 関内の奥論は「獨裁 である。チ が政者が関氏の精神 とを忘れないのは現 とを忘れないのは現 とを忘れないのは現 とを忘れないのは現 紫と興論の喧嚣た でこれに適應せんとしてある。 地震すれば一を捨てゝ除強の 力を確保することを最も得策 今日における英國の現實外交 の姿であらう、併しながらチ エンバレンの現実外交の不徹 航空母艦たらしめて選に自己 最近においてはペネシユが手 最近においてはペネシユが手 底と未熟は英國外交の行詰りの上における最大の原因である、 第介石は頭迷不護なるがあれて動性を無土と化してあるが、ジョージ三世はアメるるが、ジョージ三世はアメ

「日本ができる。 「日本がである。 「日本がである。 「日本がの連合に変せずその特殊が不屈の精神をもつて現状 の反面においては時運の本流 であるが、それては時運の本流 であるが、それては時運の本流 であるが、それては時運の本流

こめたくと泣き出

らら

**漢口明朗化** 

長春醫

院長徳丸スカ

電の大二四一を

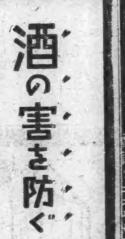
新京神

スク前

ンス租界は事變後多數避難民の週入で約倍数の四萬に達しホテル、旅館は常に滿員、一般家屋は一室平均五人乃至十人を收容、衛生狀態は極めて不良悪疫流行して死者横出の有良悪疫流行して死者横出の有心元、平均二百元の高さ、それに更では労害をから居住税を賦せら 効果的確且の迅速、價格底廉、實驗等サイト電熱治淋器響等出業口差生實驗推築 治する迄無料でお貸し致します日 8線療法の受療者には何回でも根

東京樂生堂旅院治淋器販賣部 一般慢性病專門 一般慢性病專門

湿置店



| 薬等の物資は品切れ、食糧を 脚は驚くほどで常に鵜卵、野

は以ての外です! 、からだを壊したりするなどを察はれたり、仕事を惹けた

少となり現在に於ける主なるの他生活必需品は極度に缺乏

物質はピ

に編入されてゐるのが いかロール附近から複 がかロール附近から複

中である、し

こと、下削をせず、またアル中、高いたと

一八般人……三〇 を 大・一門五〇 を 一門五〇 が、一門五〇 が、一門五〇 が、一門五〇











實驗無料 松竹大船特作映画 加丽 別れ路の歌 連發人

はしがき 言つて某外國新聞が若し英 素ツ三國が相提携して石油供 粉を紐つならば日本は直ちに 殿間力を失ふであらうと放言 したことがあるが、その雷否 したことがあるが、その雷否 にないであるが、その雷否 にないであるが、その雷否 にないであるが、その雷否 にないであるが、その雷否 知るところでもないである

で手を挟ねの

であるーこの世界的であって現在の は後にも述べる如く は得致して行くなら するに見積つても今 おでずして涸渇して

に對してどうすれば に對してどうすれば に對してどうすれば に對してどうすれば

東京は走らずに

本たか 本た対験工業の娘を脱せず經 未だ試験工業の娘を脱せず經 観されて

を設見した一八

の研究を經て直接液化法に成っている。 対したのである) フォ教授や英國のイバテエ 利における實驗として大いな 日本においては商工省無料 日本においては商工省無料 日本においては商工省無料

運 開

神徳 一手手 現 音かれば年寅年丑

金蔵大菩薩から他を挟がかの北手卯

大味 大味 大味 大きない。 大味 大き種 大き種 大き種

別学服さず相当け下さい。

を 大 菩薩 大 菩薩 カのれ 生年 申 年未

明紀の上ハガギにて健康込みさい。

機け跳る

守本館の六規力よく

病難、

第二に石油養因の不安である、これはもつと切實である。これはもつと切實である。 にイツ、イタリー、 がその最たるものであるがでは 本においては石油をどうするかでは 本においては石油の自動自足が 本においては石油の自動自足が 本においては石油の自動自足が 本においては石油の自動自足が 本においては石油の自動自足が 本においては石油の自動自足が またいに とも必要である。 殊に日 は 様かに三〇 高難と概算されて は 様かに三〇 高難と概算されて またい こう は 様かに三〇 高難と であるが これに 對する自動能力 は 様かに 三〇 高難で 表情 されて またい こう は 様かに 三〇 高難である。 またい こう は 様かに 三〇 高難で 表情 されて という は 様かに 三〇 高難で 表情 されて という は は かい こう は は いっこう に いっこう は は いっこう は いっこう は に いっこう は は に いっこう は は いっこう は は に いっこう は は に いっこう は は いっこう は は に いっこう は は に いっこう は は に いっこう は は は いっこう は は は いっこう は は は いっこう は は に いっこう は は は に いっこう は は に いっこう は は は に いっこう は は に いっこう は は に いっこう は は は いっこう は は は に いっこう は は に いっこう は に いっこう は は に いっこう に い

石炭液化の る〇るの力では日が行文等

近く試験飛行

の計算

受けて居られます。勝利たる個一つけら社構に情景が 製料は無利なるのである。 のでは、 ので

女一代生九 切の災厄を教ひ給よ! で うた 郷 おせる男女一代の 個部ちを求る、祝んや身に護持す

容袋入りにて御 役り下さい。 安本草は上間の 始き機

守本英雄到

暗い日曜日の暗い出來事…

内 を受け取らず、主任として二 で 店のマスタし坂井氏がその金 学子の借金百七十圓を拂ひに 年後六時頃歸店したところ同 世 年後六時頃歸店したところ同 世 一

人のサービス・ガールを引き がールを『ニュー銀座』に歸へ で進退谷まり振井氏への面 常に心中を圖づたものらしく 十四日夜他一名のサービス・

した梅田は瑠美子と共に所々を存み廻つた磐句午前一時半 頃中央ホテルの玄闘をたよき 山口縣戸崎郡小松二〇響地商 人田中正吉(三〇)妻(二四

# 仕京應召家族には記念品 きのふ銃後後援會主催で

たのをはじめ今春三月を期し 松江、下隣に至る空の山陰線 金子をではいめ今春三月を期し 松江、下隣に至る空の山陰線 金子をではいめ今春三月を期し 松江、下隣に至る空の山陰線 金子をではいかの 奥羽線として福島、米澤、成しようといふのである 一時から十二時中まで各得意 出に 一上では 新潟、富山、金澤、成しようといふのである 一時から十二時中まで各得意 出に 一上では 新潟、富山、金澤、成しようといふのである 一時から十二時中まで各得意 出に かから 一時から十二時中まで各得意 は 世 の 歌謡をもつて 慰問演藝を行 左義長も終つて正月氣分漸く抜けきらんとする十五日喫茶店の若いマネージャ 喫茶店での戀の始末▼ 中
圖
つ
た
が
未
遂

退防 献金 流洲探金會 証新任理事示欄川安彦氏(前 産業部線業監督署理事官)石 原を國防献金に独したき冒、 申出で軍司令部では適ちに献 金手續をとつた に居出た、犯人 である

二個、トランク三個、時計等にしたが、不在中何者か表入中施錠を破壞して侵入柳行李

はしめ在院傷病兵は大よろび

であつた

百里市 (率4川

時南(

田山

またも馬車夫を襲

3.

强盜魔現

は

ママニラ十三日線 関通)マニラではれたが、大接歌で記るである日本對アールが日本軍よく頑張つたが日本軍よく頑張った一の理察がである日本對アーの理察がである。

ムフ結あ戦夜ア第二

日本軍勝つ

優 優 勝 校

新来京一

商中

〇二四七九

日本8 (161-190) 25アテネムとなった

カオ

要名玉剛和海五大藤蟆富幡巴鶴青土 寄り 歌光ッ ノノケ綱 ケ薬州

明美第二賣店、大衛海上ビル一階に本十六日大衛海上ビル一階に本十六日大衛海上ビル一階に本十六日大衛海上ビル一階に本十六日大衛海上ビル一階に本十六日の日野治製薬では實驗験成の中心衛に近代して強展新京の中心衛になく第二賣財治製薬では實驗験成の大同財治製薬では再職験成の大同財治製薬では再職験成の大同財治製薬では再職験成の大同

た中央通署財前

の主任とサ

ガービス

ガー

ルの心中

科 人 婦 科線/児内 科病性外 意應院入室產 九三通安與南新一二九一七〇〇一四 MINE OND LINE

でなが、すご私

バス豆タク衝突 大五日午後四時三十分頃錦町と敷島通交叉點の最中で陸軍 病院より新京驛に向つて疾走 中の運轉手張維信(二七)操 他の運轉手文型寬(二四)操練 中の運轉手文型寬(二四)操練 中の運轉手文型寬(二四)操練 で豆メター一九六號とアッと 言ふ間に直角衝突をなし豆メ

中) 6 内山 (紫江) 3 木谷(率一中) ・ 4 福山 (紫江) 5 伊香 (新中) 6 内山 (紫河) 5 伊香 (新市、3 撫工、4 新中、5 新市、3 撫工、4 新中、5 新市、3 撫工、4 新中、5 新市、6 本商

新秒一

5 2

氣き 矢け の ふ 温 ふ 氣 の

東の風晴れ。東の風晴れ。

見事にきまつて大勝、大鎌拿手を上げ頭をつけて頭張り双葉右を入れて頭がに行くを安薬とく残して双栗の體ののび薬よく残して双栗の體ののび薬よく残して双栗の體ののび薬は、安藤左上手を引き右差とが、安藤左上手を引き右差となが、安藤左上手を引き右差とながら右も入れて頭をつけると

つ烈で、藤葉山打女塾置てな立入ノのを出ノノ 七十連勝は新進立つや案に還はでは大き張りで双だった。

會席は

三十人ま

配町二丁目三

食道樂
たっ

(3)五八二七

べからず』といふ諫言▼で 大馬力をかけやずと してゐる愛見から年賀訳に してゐる愛見から年賀訳に してゐる愛見から年賀訳に してゐる愛見から年賀訳に してゐる愛見から年賀訳に 

新 味は遙かにたこ岩ぞ 京 おでんは喰ふて 一寸一杯悪かあ 一品料理 か 12

石川洋岩海川山山山海山山海渡

水道工事修繕の御用 電話③{五九五五番 指定要購 大信洋行水 新京市公署 命 ~ 道部 II

計器理事長照着直過高別計器會社団事長無着直過所計器會社団事長無着直過所領域信息係者を八千代に根

汽工共享四三二一八七 第四三二一) 協位位位位位位位位位位位位

東大京天順京順大京東京順天大主順

鳴りも

定休日正付乍勝手休業仕候 三中井の公休日は行月 第三の月曜日で

### (日曜 月) 空拓

く裏日本

皇后陛下の

大君原 田中佐は 今次 の上 門十七日陸家橋附近で名譽 の観死を遂げた殊勳の勇士 で功四旭三を賜つてゐる また字野、關兩女史は共に 明治四十二年女子興智院を 率楽した濫友で、夫君は何 れも海軍の要絡にあつた人 ・光楽に感激しつ が、皇后陛下の が、皇后陛下の はよく近く、新

夫君原田中佐は今次の上 であるが、殊に原田女史の であるが、殊に原田女史の

|東京側通|| 機線に衝刷す

日本文壇に昂まる

大陸への關心

軍人未亡人を女官に召さる陛下の御仁慈

金倉祉ではずでに對支線の大権張計畫を競表し 像の大権張計畫を競表し 1場建設工事に着工し

子と他一名のサービス。ガー試みるべく十四日朝より贈美

一十五日午前十一時同館において、開設以来三十四ヶ年わが大陸

藤總領事以下全館員 大使代理黑田書記官、結 **植田全權** 

奉天總領事館 きのふ閉館式學行 この日加 際についで関族に對し最敬禮 解係者多數參集、定刻開會の 等人國領事ほか日蔣兩國官局 御紋章取りはづし】 同館に在つて残務處理

式に赴任する二月頃までに榮轉する加藤傳次郎氏

坤 商中 商中

||本一中

撫順塊炭毎十斤八銭とあるは毎十斤九銭

付訂

正致候

小

H 販

賣

F

販

値

段

價

正

廣

おいて兩運轉手を招致して取る中にも負傷したものはなか

新京市內指定販賣人組合

會

るが、すでに岸田國土、林房雄和田傳、大江賢文、加藤武雄大佛文郎、石川謹三、楊漢克衛、張蘇宙、矢田津世子、新田淵、横光利一、長田讃夫等の諸氏から参加の申込へあり、その文化的使命中込へあり、その文化的使命

等を目指して活動する筈であ 一、座談會、講演會の開催 と映に對する援助

、代表的優秀作品への表

うと言ふ點に重點を置いてる の親睦を圖る相互機關にしゃ の親睦を圖る相互機關にしゃ 本蒙古實務學院 第三回卒業式 市内惠民路三〇二の蒙古實務 學院では來る二十二日(日曜)

本十六日「第三月曜日」は

から融道の番土が、二名づつ安」『何者だ』

た格別だ」といふので、 寝宣解と座をかいて茶碗をかき込む味はま

(二百三十三)

地上

まて久々で積電器に製団した長

か、取大いで見る、はつきり分を

「左横然らばの、特別な代遣より

思ふとさらでない。

その説の語ぎが膜へ聞えて本

岩。

七郎の方には、 市松は、戦側に置をかけた。

東 東京 大・新 東京 本 京 東京 本 お 子 (本 ) 本 京 京 本 方 (本 ) 本 (本 )







兩國々技館 スの時間に





賣

富

堂

**撒替口座奉天三九七八季** 

話●六三二五香 天紅梅町







運気盛犬なるも

小原整骨院 御指定 一大人同業

四月

を残しゃして」 どうも 国無が心

「おっ、お様し、間機既宜しう。

長七郎は、すぐに立つて四へ

「脱着卵の市松です」



大和運輸公司

トラックに依る





キサトル

ル發賣元

●四線の人 諸事注意肝要な

新京銀座 変器:二三0九 電話:三三0九 電話:三三0九

五黄の人 家内和合に心を

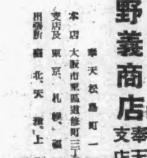
の百貨店

丙と寅と亥が吉

ドンく御中込下でい 自要會結婚媒介部

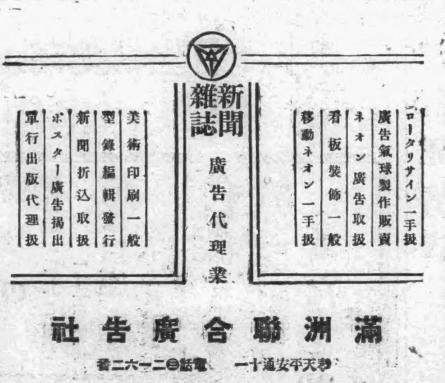
電流の九二九〇八

野義商店奉 店天









新京文店 新京大同大街大集ビル

證券株式會社









資本金五百萬圓

們立時道三十九個

公社債株式賣買、金融、投資組合斡旋

學天支店 奉天加茂町十七番地

電話●一九一四番

吉光堂寮院



